



東京理科大学
維持会レター

第36号
vol.36 2022.7



学校法人 東京理科大学 理事長

浜本 隆之



東京理科大学 維持会 会長

酒井 陽太

維持会会員の皆様におかれましては、日頃より本学の維持発展に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度から、新たな奨学生を創設いたしました。具体的には、本学にいただいたご寄付を原資とし、維持会の名前を冠した「維持会奨学生」、寄付者の皆様の名前を付した「冠奨学生」、「鶴志会（こくしかい）奨学生」、そしてフタムラ化学（株）様からの配当金を原資とする「フタムラ化学奨学生」の給付を開始いたします。皆様方のご厚志のおかげで給付する学生の対象を広げ支援を充実させることができ、深く感謝しております。

特に冠奨学生は、「東京理科大学の学生を支援したい」という方の思いを、特定の学部・学科等に所属する学生に届けることができる制度として、今後も育てていきたいと考えております。

本学は、2031年の創立150周年にむけたTUSVISION150を掲げておりますが、その実現のための次のマイルストーンとして、2026年度までの新たな中期計画を学長室とともに策定し、4月に公開したところです。

特に、より一層教育・研究環境を充実させるための施設の整備は今期の計画の大きな柱の一つです。野田キャンパスでは、新7号館、新実験棟を竣工し、更なるキャンパスアメニティの充実を図っています。葛飾キャンパスでは、4月に工学部工業化学科が神楽坂キャンパスから移転し、工学部の全5学科が集結いたしました。また、薬学部の移転に合わせた新棟建設の最中でもあります。今後、神楽坂キャンパスでも再構築を控えており、種々の情勢を慎重に見極めながら計画の策定を進めています。

今後も、維持会の皆様からのご支援に応えられるよう理事会、教職員一丸となって本学の発展に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

コロナ禍に加えウクライナ情勢、あるいは電力危機や物価上昇などの社会情勢の中、維持会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

すでに皆様、ご存じとは思いますが、昨年10月より維持拡充資金において新企画の寄付金募集が始まりました。これは寄付者のお名前を冠した給付型奨学生（冠奨学生）制度で、昨年度5件のご寄付をいただき、学生への給付も順次始まります。

この奨学生制度は学業意欲の高い成績優秀者を対象とするもので、その支給する対象範囲を学部、研究科（学科、専攻まで）を寄付者が指定することができます。

この制度の趣旨をご理解いただき、早々にご寄付いただきました皆様には感謝を申し上げますとともに、この制度が広く認知され勉学に取り組む学生の支援となるよう募金活動を進めて参りたいと思います。

建学の精神「理学の普及を以って国運発展の基礎とする」をモットーに本学が歩んだ今日までの歴史は、幾多の苦難を乗り越えるなか、有為な学生を社会に送り出し社会的責任を果たしてきた本学の物語です。

それを可能にしたものは第一に創立者たちの強い意思と情熱がありました。

その物語は本学関係者ばかりでなく、多くの学外の方々にも共感を呼ぶものであり、そうであればと支援や協力を喜んでしていただける本学が誇るべき伝統です。

昨今、本学は理工系総合大学としてその国際順位を上げてきております。

ノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生が言われている「社会に役立つ仕事をする有為な人材」を育成するために維持会も建学の精神の発揮に取り組んでいきたいと思います。

技術の進歩は日進月歩ですが、ゴールはありません。

本学で学んだ者が社会で活動し、次に来る者に力を貸し、そのまた次にも…。とする必要があります。

皆様にはご寄付の金額の多寡に拘わらず、長くご支援をお願いしたく思います。

維持会員皆様のご支援に感謝するとともに皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

第 86 回 常任維持会報告

東京理科大学維持会は、学校法人東京理科大学の維持発展に寄与することを目的とした組織です。

維持会は、東京理科大学維持会会則にもとづき、常任維持会を設置し運営しております。常任維持会の構成員は、栄誉会員及び特別会員のうちから 15 名以内を、理事長が理事会の議を経て委嘱することになっており、2022 年 5 月現在 10 名の方が常任維持会員として委嘱されております。常任維持会は、年 2 回開催され、法人の募金計画及び募金活動に関すること、寄付者に関すること、寄付者に対する顕彰に関するなど審議しております。

2022 年 5 月 24 日に開催された第 86 回常任維持会について、主な点を報告いたします。



1. 維持会会員承認について

2021 年 10 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に寄付された新規会員 27 名と追加寄付 251 件について報告があった。

2. 顕彰者について

栄誉会員 E に 1 名、特別会員に 7 名が昇格したことの報告があった。

栄誉会員 E :	渡辺 一之 様	東京理科大学 元副学長・名誉教授 昭和 53 年理学部第一部物理学科卒
特別会員 :	故 関 智弘 様	ご遺族からの寄付 平成 3 年工学部第一部電気工学科卒
	鈴木 清光 様	昭和 44 年理学部第一部物理学科卒
	大澤 賢一 様	一般篤志家
	白井 康雄 様	平成 7 年理学部第二部化学科卒
	西川 英一 様	東京理科大学 教授 昭和 56 年工学部二部電気工学科卒
	宇津 栄三 様	東京理科大学 教授 昭和 63 年理工学部物理学科卒
	宮本 悅子 様	東京理科大学 元教授

3. 「募金顕彰の会」の開催について

2022 年 5 月 24 日に PORTA 神楽坂において、東京理科大学維持会募金顕彰の会を開催する旨の報告があった。

【常任維持会】

会長	酒井 陽太
副会長	岡本 公爾 加藤 和詳
会員	秋山 仁 岡村 総一郎 坂本 功 望月 圭一郎
	本山 和夫 山田 義幸 吉本 成香

(任期 : 2020 年 12 月 28 日から 2024 年 12 月 27 日まで)

【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2021年10月1日～2022年3月31日)

個 人	66,158,000円
団 体	50,000円
こ う よ う 会	340,000円
法 人	77,050,140円
合 計	143,598,140円

【維持拡充資金(第二期) 寄付総額】

(2021年4月1日～2022年3月31日)

個 人	104,505,000円
団 体	3,809,000円
こ う よ う 会	750,000円
法 人	135,650,140円
合 計	244,714,140円

表 彰 者

募金顕彰の会(2022年5月24日開催)において、**荣誉会員 E(1名)**及び**特別会員に昇格した方(4名)**に浜本理事長から表彰楯を贈呈しました。



荣誉会員E 渡辺 一之 様
東京理科大学 元副学長・名誉教授
昭和53年理学部第一部物理学学科卒



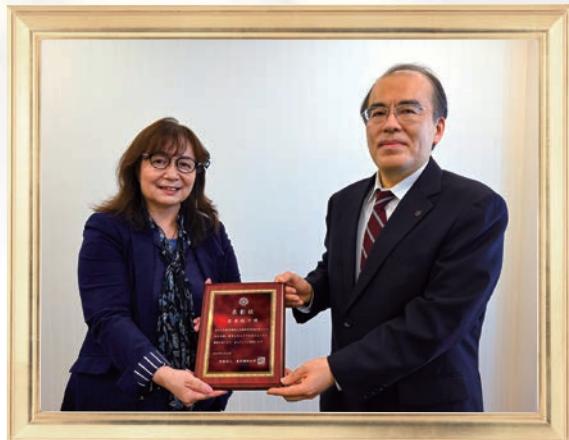
特別会員 白井 康雄 様
平成7年理学部第二部化学科卒



特別会員 西川 英一 様
東京理科大学 教授
昭和56年工学部二部電気工学科卒



特別会員 宇津 栄三 様
東京理科大学 教授
昭和63年理工学部物理学科卒



特別会員 宮本 悅子 様
東京理科大学 元教授



※撮影時のみマスクを外して撮影しました。

2022年度から5つの冠奨学金が創設されました

渡辺一之奨学金 ♪ 関智弘奨学金 ♪ 白井康雄奨学金 ♪ 大澤賢一奨学金 ♪ 森野義男奨学金

ご寄付賜った方々から、学生に向けたメッセージをいただきましたので、いくつか紹介します。

渡辺一之奨学金

冠奨学金新設を機に、私は理学研究科物理学専攻博士後期課程対象奨学金に寄付しました。今後、多くの学科・専攻対象の冠奨学金の募集が始まることでしょう。私達は、科学を信じ、研究を志す皆さんを応援し続けます。

白井康雄奨学金

現在農業者の白井です。科学教育専攻出身の教員には、学校で勉強する事が、生徒の日々の生活や将来の職業にどのように役立つか、教えられる人になってもらいたいと考え、寄付させていただきます。

維持拡充資金（第二期）冠奨学金支援に関するご寄付のお願い

東京理科大学はその前身である東京物理学校の創立（明治14年）以来、140年に亘り“理学の普及をもつて国運発展の基礎とする”という建学の精神に基づき、建学時からの伝統である実力を備えた学生のみを卒業させるという実力主義を受け継いできました。大学を取り巻く社会的環境が厳しさを増す状況下でも、この建学の精神に基づく教育研究活動を着実に発展させ、実力を有する多くの人材を、日本の教育界や産業界、研究機関に輩出し、社会に貢献してきました。

さて維持拡充資金（第二期）は、2006年の創立125周年以降の募金窓口として、奨学金や教育研究資金、施設設備拡充資金、課外活動施設拡充資金の募集を実施してきました。また昨年度からは新型コロナ感染症の拡大に伴い、学生が、家計の急変やアルバイト収入の減少等の経済的な理由で学業の継続を断念することがないよう、コロナ支援（家計急変学生支援）の募集を開始し、「東京理科大学家計急変支援金」（給付型奨学金）による学生の支援を行っております。

今般、このような支援に加え、おもに学業意欲の高い成績上位者を対象に、次の2種類の給付型冠奨学金を新たに創設することにいたしました。大変厳しい経済状況の中、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただき、引き続き皆さまからの力強いご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

冠 奖 学 金 の 種 類		
	① 維持会奨学金	② 寄付者の名前を付した奨学金 (例: 理太郎奨学金)
原 資	維持拡充資金（第二期）	維持拡充資金（第二期）のうち、一括して1口300万円を1口以上寄付され、使途を「冠奨学金」に指定された方の寄付金
給付額／1人	25万円	1口当たり30万円
人数／年	約40人	1口当たり1人（給付期間10年）
備 考	給付対象は学部学生等とします。	給付対象学生の学部、研究科等をご指定いただけます。（学科、専攻までご指定可能です。）

【寄付金の募集・受入開始】2021年10月1日（奨学金の給付開始は2022年度）

【募集対象】同窓生、教職員、篤志家

【申込方法】ホームページ (<https://www.tus.ac.jp/donation/internet/>)

【寄付の方法】クレジットカード、ネットバンキング、銀行振込

【給付の審査基準】学業意欲の高い成績上位者

【税制上の優遇措置】本法人に対するご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

【領収書】寄付金の領収書を発行させていただきます。確定申告にご使用ください。

【寄付者の顕彰】寄付者様の同意のもと、学報等の芳名録にて掲載させていただきます。



【お問い合わせ先】 東京理科大学 募金事業事務室
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
TEL: 03-5228-8723 (ダイヤルイン)

都道府県別維持会会員数一覧

2022年3月31日現在

会員種別	栄誉会員							特別会員		終身会員		普通会員
	SA	AA	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
会員格付	SA	AA	A	B	C	D	E	F	G	H	I	普通会員
北海道								1		1	1	5 1
青森											6	2
岩手							1			1	1	7
秋田										1		2
山形										1	1	3
宮城								1		2	1	2 1
福島												6
茨城								1	3 1	5 1	21 7	39
栃木								1	1	2	2 3	11
群馬										1	1 1	18
埼玉			1				3	3 1	7 6	22 5	46 12	87
千葉			1		1		3	2	12 2	31 8	59 26	107
東京	1	1			1 2	6 4	15 4	28 11	67 25	136 74		279
神奈川				1		5	3 1	6 4	17 9	52 28		141
長野									1 1	4	9 2	15
山梨										1	2	4
静岡										2 3	4 3	15
愛知	1						1	2	1	2 1	4 2	17
岐阜										2 1		4
福井						1	1			1	1	2
石川								1		2		3
富山										1	1 2	4
新潟										1	2 2	14
三重										2 1		9
滋賀									2			2
大阪								1 2	2 2	2		12
京都								1 1		3		5
奈良										2 1		2
和歌山					1					1		2
兵庫						1			1 2 2	3		9
鳥取												2
島根												1
岡山										4 3		7
広島									1	1	7 1	16
山口										12		29
香川										5 1		
徳島										1 1		5
高知												
愛媛						1				1 1		2
福岡									1			7
佐賀												1
長崎										1		1
熊本											1	2
大分										1		5
宮崎									1 1			1
鹿児島									2	1		2
沖縄										2		3
国 外												
計	0	0	1	2	1	3	15	27	64	170	407	921

赤数字は物故者数